

2020年3月期 第3四半期累計期間の連結業績 及び 通期の連結業績予想の説明

当概要は「2020年3月期 第3四半期決算短信」「2020年3月期 第3四半期決算参考資料」「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」に基づいた説明です。

1. 第3四半期累計期間（2019年4月～2019年12月）の連結業績の説明（前年同期比較）

- 当第3四半期累計期間の連結損益計算書について

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
売上高	9,972 億円	1 兆 226 億円	253 億円
売上総利益	4,090 億円	4,660 億円	570 億円
（売上総利益率）	（41.0％）	（45.6％）	
営業利益	2,200 億円	2,629 億円	429 億円
（営業利益率）	（22.1％）	（25.7％）	
経常利益	2,402 億円	2,738 億円	335 億円
（経常利益率）	（24.1％）	（26.8％）	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,687 億円	1,963 億円	276 億円
（親会社株主に帰属する 四半期純利益率）	（16.9％）	（19.2％）	

（売上高の説明）

Nintendo Switch では、小さく、軽く、持ち運びやすくなった携帯専用の「Nintendo Switch Lite」を9月に発売したことに加えて、「Nintendo Switch」の販売も勢いを落とすことなく好調に推移したことにより、Nintendo Switch ファミリー本体の販売台数は大きく伸び、前年同期を上回る結果となりました。ソフトウェアでは、『ポケットモンスター ソード・シールド』が1,606万本の販売を記録する大ヒットとなったほか、『ルイージマンション3』や『スーパーマリオメーカー 2』も500万本以上の販売となりました。さらに、前期までに発売済みの人気タイトルやソフトメーカー様のタイトルも好調に販売を伸ばし、当期のミリオンセラータイトル数はソフトメーカー様のタイトルを含めて21タイトルとなりました。また、12月より中国において、テンセント社を通じて、Nintendo Switch の販売を開始しました。これらの結果、ハードウェアの販売台数は前年同期比22.5%増の1,774万台に、ソフトウェアの販売本数は前年同期比30.1%増の1億2,313万本となりました。

ニンテンドー3DS では、ハードウェアの販売台数は前年同期比73.0%減の62万台に、ソフトウェアの販売本数は前年同期比63.0%減の410万本となりました。

ゲーム専用機におけるデジタルビジネスでは、主に Nintendo Switch のパッケージ併売ダウンロードソフトやダウンロード専用ソフト等による売上が順調に伸びたことに加えて、Nintendo Switch Online による売上が年間を通じて計上されたこともあり、デジタル売上高は前年同期比 48.3% 増の 1,249 億円となりました。

モバイルビジネスでは、当期に配信を開始した『Mario Kart Tour』等に加え、これまでに配信済みのアプリも多くのお客様に継続して楽しんでいただいております、モバイル・IP 関連収入等の売上高は前年同期比 10.6% 増の 369 億円となりました。

(売上総利益及び売上総利益率の説明)

売上総利益は、売上高の増加により前年同期比 13.9% 増の 4,660 億円となりました。売上総利益率は、為替相場が円高に推移したことによるマイナス効果があったものの、ゲーム専用機の売上に占めるソフトウェアの売上構成比率が上昇したことや、デジタル売上高の割合が増加したことにより、4.6 ポイント増の 45.6% となりました。

(営業利益及び経常利益の説明)

営業利益は、主に売上総利益が増加したため、前年同期比 19.5% 増の 2,629 億円となりました。経常利益は、当第 3 四半期末の為替相場が前期末に比べて円高に推移し、為替差損が 80 億円発生したものの、主に米ドル建て預金の受取利息が増加したことなどにより、2,738 億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は 1,963 億円となりました。

2. 2020年3月期 通期の連結業績予想の修正

第 3 四半期までの実績および今後の販売見通しを踏まえ、通期の販売予想を見直したため、2019 年 4 月 25 日に開示しました「2019 年 3 月期 決算短信」において発表した連結業績予想から以下の通り変更いたしました。

● 通期連結業績予想

	2019/4/25 発表	2020/1/30 修正発表
売上高	1 兆 2,500 億円	1 兆 2,500 億円
営業利益	2,600 億円	3,000 億円
経常利益	2,600 億円	3,000 億円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,800 億円	2,100 億円

当期末の前提為替レートは、1 ドル 105 円、1 ユーロ 120 円から変更ありません。

● 通期連結業績予想

	2019/4/25 発表	2020/1/30 修正発表	増減
ニンテンドー3DS ハードウェア	100 万台	65 万台	35 万台減
ニンテンドー3DS ソフトウェア	500 万本	450 万本	50 万本減
Nintendo Switch ハードウェア	1,800 万台	1,950 万台	150 万台増
Nintendo Switch ソフトウェア	1 億 2,500 万本	1 億 4,000 万本	1,500 万本増

※ 各ソフトの販売数量予想は、当第 3 四半期までの実績部分にはハードに同梱して販売した数量を含みますが、予想部分にはハードに同梱する数量は含みません。

なお、連結業績予想の修正に伴い、年間配当金の予想額については、1株当たり760円から890円に変更いたしました。

当該説明に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。現実の結果（実際の業績及び配当予想額を含みますが、これに限られません。）は様々な要因の変化により、これら見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。